

あそびまつりだより No.7

頌栄幼稚園

2020.10.2

今回は違った視点から朝の様子をお伝えしたいと思います。遊び自体は自分の興味のあることなので没頭したり熱中したりできます。それだけでなく友だちのことを考えられることや、疲れている中でも最後まで頑張るという責任感は「片付け」にあるのではないのでしょうか。年長は自分たちが一番お兄さんお姉さんだという自覚から他のクラスの片付けを「手伝ってあげる！」と意気込んでいますが、実は年少年中さんの片付けもスゴイ！

※白黒のお手紙では帽子の色などクラスが分かりにくいかもしれませんが、是非ホームページにてカラーでもご覧下さい。

使っていないものも「手伝うわ！」と頑張るのは当たり前！？です。さらに、年長は自分のしていないものまで片づけています。さすがお兄さんお姉さんです。

跳び箱のマットはとっても重いので、「そっち持って」と言いながら協力しています。



年長から年中へ



それを見ていたのか、年中さんも片付けはじめました。年中さんのいい所は一人の子どもが何かをしだすとたくさんの子どもが集まってきて協力しはじめる所です。

最近は年長が片付けをしている所にも手伝いに来てくれます。

真ん中に置いているカラーBOXは必ず年中さんが片付けをしてくれています。

ある日から年少さんも片付けだし、重たかったのか転がし始めました。・・・スゴイ！発見したのでしょうか！？



年中から年少へ



年少さんはずっとトランポリンを楽しんでいます。直すのも上手になり、なんとトランポリンも転がして片付け始めました。



いちから子どもたちが道具を置く場所を決めて、どう遊びを作っていくのかも考え発展させてきました。子どもから出てくるアイデアで日々の道具の出し方も変わります。遊び終わった後は、責任をもって片付けをすることも明日への遊びに繋がっていきます。準備や片付けの時にも、トラブルがあったり、言い合いをする姿が見られます。大人が行えば早く済むことですが、片付けの中にも遊び同様に人間関係の深い学びのチャンスがあります。危険がある道具については保育者が傍で見守り支援をしながら進めています。